

## 1. 学校推薦型選抜

### (1) 公募制推薦入学試験

#### 商学部

##### 【趣旨】

商学部は、ビジネス・インテリジェンス、すなわちビジネスに必要とされる実践的な知識および技術ならびに倫理観などの教育研究を通して、社会的事象の本質を理解し、真に行動を起こすことのできる人材を養成することを目的としています。商学部の公募制推薦入学試験は、資格検定を既に取得して、さらに向学の志のある生徒を対象としています。提出書類をもとに、学力試験では測れない生徒の意欲や関心、高校時代の活動を、面接や小論文によって評価していく試験制度です。

##### 【出題のねらい・注意点】

小論文では、主として大学の授業を受けるのに十分な基礎学力があるかどうかを、面接では、専修大学の学生にふさわしい社会常識があるかどうか、また商学部生として社会に関する好奇心や学修意欲を持っているかどうかを確認しています。対策としては、日頃の高校生活を充実させたうえで、さらに新聞やニュースを見たりして商学部の扱う領域である経済情勢や社会の動きに常に関心を持ってください。小論文については、まずは実際に何度か書いてみて、さらに誤字脱字や原稿用紙の使い方に注意してください。

■実施学部・学科 商学部・マーケティング学科/会計学科

■募集人員 マーケティング学科20名/会計学科15名

■出願資格

令和9年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)全日制もしくは定時制を卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和8年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む)

■推薦基準

(1) 本学商学部マーケティング学科・会計学科への入学を第一志望とする者  
(2) 入学後の勉学に関して明確な志向と興味を持ち、それにふさわしい能力を備えた者  
(3) 調査書についての基準

高等学校最終学年1学期までの全体の学習成績の状況が3.8以上であること。ただし、2学期制の高等学校においては最終学年前期までの成績、4学期制であれば最終学年2学期までの成績

(4) 指定した資格検定のうちいずれかを取得した者

\*詳細は入学試験要項で確認してください。

■選考方法 書類審査、小論文および面接

■出願期間 【WEB出願登録期間】

令和8年10月26日(月)～11月6日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 消印有効

■試験日 令和8年11月14日(土)

■合格発表日 令和8年12月1日(火)

■併願について 他大学・他学部との併願を認めますが、本入学試験制度で合格した場合は、本学部に入学することを前提とします。

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
商学部	マーケティング学科	89	89	32	2.8
	会計学科	48	47	21	2.2
合計		137	136	53	2.6

#### ネットワーク情報学部 NEW

##### 【趣旨】

ネットワーク情報学部は、ICT(情報通信技術)を活用し、社会やビジネスで有益とされる価値の創造ができる人材を育成します。そのような人材となるためには、土台となる「基礎学力」と未知の領域へ踏み出す「主体性」が不可欠です。公募制推薦入学試験では、本学部で学ぶ基盤として、情報学の基礎学力、特に「論理的思考力(数学)」と「語学力(英語)」を身につけた者を求めます。理系・文系の枠にとらわれず、数学の多様な学習努力を正当に評価するため、履修状況に応じた評定や数学検定の基準を設けています。面接では志望理由等の確認に加え、質疑応答を通して「論理的な日本語のコミュニケーション能力」を評価します。既卒生も含め、提出書類と面接を通し、これまでの学習等の実績と高い志を総合的に評価します。

■実施学部・学科 ネットワーク情報学部・ネットワーク情報学科

■募集人員 10名

■出願資格

令和9年3月に日本国内の高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)全日制、定時制、通信制もしくは高等部を置く特別支援学校を卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和8年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む)

なお、既卒者も出願可能であるが、調査書及び学校長の推薦書を提出できる者に限る。

■推薦基準

(1) 専修大学ネットワーク情報学部での勉学を強く希望し入学を志す者  
(2) 高等学校最終学年1学期までの全体の学習成績の状況が3.5以上であること。ただし、2学期制の高等学校においては最終学年前期までの成績、4学期制であれば最終学年2学期までの成績、既卒者は修了時までの全体の学習成績の状況とする。

(3) 一般選抜前期入学試験で利用している英語外部試験の基準スコアで80点換算以上のスコアを提出できる者(詳細はp.141参照)。なお、2024年12月1日以降に受験したものに限る。

(4) 数学について、①～③のいずれかを満たしていること。  
① 実用数学技能検定(公益財団法人日本数学検定協会)2級以上 ※2024年12月1日以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験し、1次・2次検定の両方に合格している者。  
② 数学(数学I, 数学II, 数学III, 数学A, 数学B, 数学C)のすべてを含むこと)の評定が3.3以上  
③ 数学(数学I, 数学II, 数学A, 数学B, 数学C)のすべてを含むこと)の評定が3.6以上

■選考方法 書類審査および面接

■出願期間 【WEB出願登録期間】

令和8年10月26日(月)～11月6日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 消印有効

■試験日 令和8年11月21日(土)

■合格発表日 令和8年12月1日(火)

\*詳細は入学試験要項で確認してください。

■併願について 本学の学校推薦型選抜との併願は認めませんが、総合型選抜との併願は可能です。他大学との併願は可能ですが、本学部を第一志望とし、合格した場合は入学することを前提とします。

### (2) 全国商業高等学校長協会推薦入学試験

#### 経営学部

##### 【趣旨】

本推薦入学試験制度は、これまで優れた学業成果をあげ、大学進学後も目的意識を持ち、主体的に勉学に取り組むことが期待される生徒を受け入れるための、高等学校長および全国商業高等学校長協会の推薦に基づく試験制度です。

専修大学経営学部では、経営に関わる諸問題に対する洞察力を有し、問題を解決する手段を創造的に考察し、その解決に向けて自主的に行動することができる人材を養成することを目的としています。

経営学科においては、経営学の様々な分野やビジネスに強い興味を持って組織の目標達成や価値向上を目指す方々の出願を、ビジネスデザイン学科においては、経営学の知識を礎にした事業創造や新商品・新サービスの開発に興味を持つ方々の出願を期待します。

■実施学部・学科 経営学部・経営学科/ビジネスデザイン学科

■募集人員 経営学科7名/ビジネスデザイン学科3名

■出願資格

(1) 令和9年3月全国商業高等学校長協会(以下、全商協会)会員の全日制の高等学校、もしくは全日制の中等教育学校を卒業見込みの者で、かつ、卒業するまでに、教科「商業」に関する科目を20単位以上修得見込みのある者  
(2) 令和8年度全商協会大学特別推薦者としての推薦を受けている者

■推薦基準

(1) 本学経営学部経営学科・ビジネスデザイン学科への進学を第一志望とする者  
(2) 経営学科においては、経営学の様々な分野やビジネスに強い興味を持って組織の目標達成や価値向上を目指す者  
(3) ビジネスデザイン学科においては、経営学の知識を礎にした事業創造や新商品・新サービスの開発に興味を持つ者  
(4) 以下の①～③の条件をすべて満たすこと

① 全体の学習成績の状況が4.0以上であること

② 英語の学習成績の状況が4.0以上であること

※①、②の学習成績の状況は、高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)最終学年1学期までの成績。ただし、2学期制の高等学校においては最終学年前期までの成績、4学期制であれば最終学年2学期までの成績

③ 以下の3つの分野の資格のうち、2つ以上の分野で指定した資格を取得していること  
(a) 簿記  
(b) 情報処理  
(c) 英語

\*詳細は入学試験要項で確認してください。

■選考方法 書類審査および面接

■出願期間 【WEB出願登録期間】

令和8年10月26日(月)～11月6日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 消印有効

■試験日 令和8年11月21日(土)

■合格発表日 令和8年12月1日(火)

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経営学部	経営学科	7	7	7	1.0
	ビジネスデザイン学科	2	2	2	1.0
合計		9	9	9	1.0

#### 商学部

##### 【趣旨】

商学部は、ビジネス・インテリジェンス、すなわちビジネスに必要とされる実践的な知識および技術ならびに倫理観などの教育研究を通して、社会的事象の本質を理解し、真に行動を起こすことのできる人材を養成することを目的としています。本推薦入学試験制度は、本学商学部へ入学を真に希望する者で、高い学修意欲をもって優れた学業成果をあげ、大学進学後も目的意識および勉学意欲を保つことが期待される生徒を受け入れるための、高等学校長および全国商業高等学校長協会の推薦にもとづく試験制度です。

■実施学部・学科 商学部・マーケティング学科/会計学科

■募集人員 マーケティング学科5名/会計学科5名

■出願資格

(1) 令和9年3月全国商業高等学校長協会(以下、全商協会)会員の高等学校(通信制を除く)卒業見込みの者で、かつ、卒業するまでに、教科「商業」に関する科目を25単位(外国語に属する科目の単位を5単位まで含めることができる)以上修得することが見込まれる卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和8年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む)  
(2) 令和8年度全商協会大学特別推薦者としての推薦を受けている者

■推薦基準

(1) 本学商学部マーケティング学科・会計学科への入学を第一志望とする者  
(2) 入学後の勉学に関して明確な志向と興味を持ち、それにふさわしい能力を備えた者  
(3) 以下の①～③の条件をすべて満たすこと

① 高等学校最終学年1学期までの全体の学習成績の状況が3.8以上であること。ただし、2学期制の高等学校においては最終学年前期までの成績、4学期制であれば最終学年2学期までの成績

② (公財)全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定試験1級または、日本商工会議所主催の簿記検定試験2級以上の合格者

③ (公財)全国商業高等学校協会主催の英語検定試験1級または、(公財)日本英語検定協会主催の実用英語技能検定準2級以上の合格者

■選考方法 書類審査および面接

■出願期間 【WEB出願登録期間】

令和8年10月26日(月)～11月6日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 消印有効

■試験日 令和8年11月14日(土)

■合格発表日 令和8年12月1日(火)

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
商学部	マーケティング学科	5	5	5	1.0
	会計学科	5	5	5	1.0
合計		10	10	10	1.0

## 1. 学校推薦型選抜

### (3) 指定校制推薦入学試験

#### 【趣旨】

本学では入学選抜の一方策として、指定校制推薦入学試験制度を設けています。この制度は、入学試験で示される学力だけの選抜とは別に、希望学科への志望の度合いや入学後の勉学に関する意欲と明確な志向・適性・能力を一層重んじようとする趣旨によるものです。

#### ■実施学部 全学部

#### ■出願資格

(1) 令和9年3月高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)を卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、令和8年4月1日以降学年の途中において卒業と認められたものを含む。)

(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月修了見込みの者

#### ■推薦基準

(1) 各学部・学科への入学を強く希望している者

(2) 高等学校最終学年1学期までの学業成績が、各学部・学科で定めた基準に該当する者。ただし、2学期制の高等学校においては、最終学年前期までの成績、4学期制であれば最終学年2学期までの成績。推薦基準などの詳細は、推薦入学試験要項で確認してください。

#### ■選考方法

学部	選考方法
経済学部 人間科学部	書類審査(小論文および活動報告書含む)
法学部 商学部	書類審査(小論文含む)、グループ面接
経営学部	書類審査(小論文含む)、グループディスカッション
文学部	書類審査、小論文、グループ面接
国際コミュニケーション学部	書類審査、小論文、個人またはグループ面接
ネットワーク情報学部	書類審査、記述式総合問題、グループ面接

■出願期間 【WEB出願登録期間】

令和8年10月26日(月)～11月6日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 消印有効

■試験日(経済学部、人間科学部は対象外\*)

令和8年11月21日(土)<法学部以外\*>

11月22日(日)<法学部>

\* 経済学部、人間科学部は書類審査のみで選考します。

■合格発表日 令和8年12月1日(火)

■備考 指定校には、7月上旬までに通知を学校長宛に送付します。

■併願について 他の入学試験制度との併願は認めません。

### (4) スポーツ推薦入学試験

#### 【趣旨】

高等学校時代のスポーツ活動において優秀な成績をおさめた者の中から、本学への入学を強く希望し、かつ、人物的にも優れた勉学意欲のある者に入学を許可し、学業とスポーツとの両面からの調和的教育によって、スポーツ振興の一端を担うとともに、社会に貢献する人材を育成しようとするものです。

#### ■実施学部 全学部

詳細については、体育事務課(TEL.044-911-1273)までお問い合わせください。

## 2. 総合型選抜

### (1) 経営学部

#### 【趣旨】

専修大学経営学部では、変化の激しい時代において柔軟な思考力と創造性豊かな学生を育成する観点から、総合型選抜を実施します。経営学に強い興味を持っており、本学経営学部でぜひとも学びたいという希望を強く持っている皆さんを歓迎します。

経営学科においては、英語・簿記・情報処理・数学・統計の資格を既に取得した方々の出願を、ビジネスデザイン学科においては、新しいことに果敢にチャレンジしたい希望を強く持っている方々の出願を期待します。

■実施学部・学科 経営学部・経営学科/ビジネスデザイン学科

■募集人員 経営学部 経営学科 15名/ビジネスデザイン学科 10名

#### ■総合型選抜で求める人材像

##### 経営学科

(1) 経営学やビジネスに強い興味を持っている者

(2) 英語・簿記・情報処理・数学・統計の資格を生かし、将来、組織で活躍したい者

##### ビジネスデザイン学科

新規事業の創業、既存事業の再興、また社会事業運営、事業による地域活性化や国際的展開などのビジョンを持ち、それを実現する希望・意欲を強く持っている者

具体的には以下のいずれか、あるいは複数に当てはまる者

(1) 将来、様々な企業で、新しい商品やサービスを世の中に提案・企画や、新しいビジネスの立ち上げなどの仕事に携わりたい希望・意欲を強く持っている者

(2) 将来、ビジネスを通じて、出身地域の活性化や再生に貢献したい希望・意欲を強く持っている者

(3) 将来、ボランティア活動やNPO活動などを通じて、グローバル社会や地域社会が抱えている様々な問題(地球環境・エネルギー・貧困・格差など)を解決したい希望・意欲を強く持っている者

(4) ビジネスアイデアの実現や新規ビジネスの立ち上げなどを主なテーマに、企業・団体・学校等で行われたビジネスコンクールなどの様々なイベントに参加した者

(5) 将来、自分だけの店を持つなど、スモールビジネスや個人経営に強い興味や意欲を持っている者

(6) 既卒者で、様々な分野(大工などの職人、農林水産業、スポーツ界、芸能界など)で実績を積んでおり、その実績とビジネスデザイン学科での学びとを融合させ、新規ビジネスを立ち上げたい希望・意欲を強く持っている者

(7) 高校を卒業してから専門学校などに進み、専門的な仕事に携わるのに必要な免許を取得しており、その免許を活かして、今後、自分のビジネスを立ち上げ、それを大きく育てたい希望・意欲を強く持っている者

(8) 将来、親族や知人等のビジネスを承継し、そのビジネスをさらに大きく育てたい希望・意欲を強く持っている者

(9) 海外を舞台にしてビジネスを展開したい希望・意欲を強く持っている者

#### ■出願資格

令和9年3月に日本国内の高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)全日制、定時制もしくは通信制を卒業見込みの者

(外国の高等学校に留学のため、令和8年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。)

なお、ビジネスデザイン学科においては、既卒者でも出願可能であるが、調査書を提出することができる者に限る。

#### ■出願条件

##### 経営学科

(1) 本学経営学部経営学科での勉学を強く希望し、入学を志す者

(2) 経営学やビジネスに強い興味を持っている者

(3) 調査書についての基準

高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)最終学年1学期、2学期制であれば最終学年前期、4学期制であれば最終学年2学期までの全体の学習成績の状況が4.0以上の者。

なお、2学期制において、最終学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は、第2学年までのものとし、4学期制において、最終学年2学期までのものの提出が不可能な場合は、最終学年1学期までのものとし、

(4) 下表の資格を取得した者

資格に関しては5領域(簿記・英語・情報処理・数学・統計)を、資格の難易度に応じて評価します。複数の領域の資格を有する場合は加点します。なお、対象は出願締切日までに取得した資格に限ります。

領域	資格名
簿記	日商簿記検定3級以上
	全商簿記実務検定第1級(「会計部門」および「原価計算部門」の両方の合格)
	全経簿記能力検定上級
英語	実用英語技能検定(英検®)2級以上またはCSE2.0 1980以上(英検S-CBT®、英検S-Interview®含む)
	TOEIC®L&R 500点以上
情報処理	TOEFL iBT®のスコアが一定以上*の者 *詳細は入学試験要項で確認してください。
	IPA(情報処理推進機構)の実施する情報処理技術者試験のうち、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験
数学	情報検定(J検)のうち、情報活用試験1級、情報デザイン試験上級、情報システム試験(プログラミングスキルまたはシステムデザインスキル)
	ICTプロフィシエンシー検定(P検)1級 ※令和7年3月31日までに受検したものを対象とします。
統計	全商情報処理検定試験第1級ビジネス情報、および第1級プログラミングの両方の合格
	実用数学技能検定2級以上(「計算技能検定」および「数理技能検定」の両方の合格)
統計	統計検定1級(「統計数理」および「統計応用(少なくとも1分野)」の両方の合格)、準1級、2級、またはデータサイエンスエキスパート

なお、出願条件の資格には含まれませんが、下表の資格取得が確認でき、かつ複数の領域の資格を有する場合は加点します。

領域	資格名
簿記	なし
英語	実用英語技能検定(英検®)準2級プラス、準2級、またはCSE2.0 1728-1979(英検S-CBT®、英検S-Interview®含む) 全商英語検定試験第1級
情報処理	ICTプロフィシエンシー検定(P検)2級 ※令和7年3月31日までに受検したものを対象とします。
数学	全商情報処理検定試験第1級ビジネス情報、または第1級プログラミングの合格
統計	実用数学技能検定準2級(「計算技能検定」および「数理技能検定」の両方の合格) 統計検定3級

(5) 他大学・他学部との併願は認めますが、本入学試験制度で合格した場合は、本学部に入学することを前提とします。

#### ビジネスデザイン学科

(1) 本学経営学部ビジネスデザイン学科での勉学を強く希望し、入学を志す者

(2) 本学経営学部ビジネスデザイン学科が求める人材像のいずれかに合致する者

(3) 調査書についての基準(卒業見込み者だけでなく、既卒者も同じ)

高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)最終学年1学期、2学期制であれば最終学年前期、4学期制であれば最終学年2学期、既卒者は修了時までの全体の学習成績の状況が3.8以上の者。

なお、2学期制において、最終学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は、第2学年までのものとし、4学期制において、最終学年2学期までのものの提出が不可能な場合は、最終学年1学期までのものとし、

(4) 他大学・他学部との併願は認めますが、本入学試験制度で合格した場合は、本学部に入学することを前提とすること。

■選考方法 第1次選考(書類審査)  
第2次選考(経営学科:面接)  
(ビジネスデザイン学科:小論文およびプレゼンテーション)

■出願期間 【WEB出願登録期間】  
令和8年9月1日(火)～9月11日(金)  
【出願書類提出期間(郵送)】  
令和8年9月7日(月)～9月11日(金) 消印有効

■試験日 第2次選考 令和8年10月17日(土)

■合格発表日 第1次 令和8年10月9日(金)  
第2次 令和8年11月2日(月)

#### ■備考

本入学試験の趣旨や応募に関する注意事項などを含めた説明会を令和8年6月21日(日)、8月1日(土)・2日(日)に生田キャンパスで開催します。第2次選考は、第1次選考合格者に対してのみ行います。本入学試験制度の詳細は、入学試験要項を確認してください。

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	第1次選考(書類審査)		第2次選考		倍率
			受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
経営学部	経営学科	35	35	32	28	15	2.3
	ビジネスデザイン学科	47	47	19	18	13	3.6

## 2. 総合型選抜

### (2) 経済学部 国際経済学科

#### 【趣旨】

国際経済学科は、国際経済を理解する基本・応用学習の他、世界を広く網羅する地域言語・地域研究等を含むカリキュラムを通じて、グローバル化時代に対応できる人材を国内外に送り出してきました。今後益々変貌する国際情勢に対して、海外事情の的確な理解や分析で活躍する人材、国際的な起業やグローバルな視野に基づいた活動に挑戦できる人材の育成を強化することをめざしています。

本入学試験は、「グローバル人材入試」としてグローバルな人材育成で鍵となる潜在的な語学力および発想力・探索力を持つ人材を選抜します。出願は3方式に分かれており、志願者の資質に最も合う方式を選ぶことができます。

第1の「英語資格型」は、一定の英語の語学力水準を満たした志願者向けのもので、海外での学習機会に積極的に参加する人材を求めます。志願には、英語をはじめ外国語を学ぶ潜在能力を持っていることを示すため、一定の英語能力検定の資格が必要であり、また、日本や国際社会に関する課題を論じる小論文を提出して頂きます。

第2の「発想力型」は、独創的な発想を持ち情報収集や考察を通してそれを他者に伝えられる人材を求めます。発想力は、グローバル化時代の新たな諸課題に対応する上で鍵となります。国際社会や地域社会が抱える問題・課題に対して、自らの体験および学習の双方にもとづいて発想した提案や解決策を説明し、それはどのようにしたら実現できるのか、あるいは、どのようにしたら実現へと接近できるのかを小論文で提示することが求められます。

第3の「探索力型」は、地道に自分の関心を深く追求する探索力がある人材を求めます。国際社会が直面する諸問題や日本が抱える諸課題等の中から、個別のテーマを取り上げ深く掘り下げられる資質が求められます。そのため、課題図書を読みこなし、関連した設問に対して自分なりの考えをまとめた小論文を提出していただけます。

選抜にあたっては、高大接続改革における学力の3要素である、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、を総合的に評価します。

■実施学部・学科 経済学部・国際経済学科

■募集人員 「英語資格型」「発想力型」「探索力型」計20名

■出願資格

- 高等学校または中等教育学校を令和8年4月以降に卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- 外国において、学校教育における12年の課程を令和8年4月1日以降に修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 本学における個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、日本の高等学校に相当する課程を令和9年3月31日までに卒業見込みのもの(18歳に達した者に限る)

■出願条件

- 専修大学経済学部国際経済学科での勉学を強く希望し、入学を志す者
- 「英語資格型」にて出願を希望する者のみ、下表の資格を取得した者

実用英語技能検定(英検®) (英検S-CBT®、 英検S-Interview®含む)	1級、準1級、2級のいずれかを受験し、 以下のいずれかの条件に該当している者(可否は問わない) 「CSEスコア2.0が2150点以上」 または 「CSEスコア2.0が1980点以上2150点未満かつ、 出身高等学校の英語の学習成績の状況が4.2以上*」
TOEFL iBT®	従来スコア42以上(2026年1月20日以前の実験者) または バンドスコア3.0以上(2026年1月21日以降の実験者) ◎「My Best™ Scores」は使用できません。
TOEIC® L&R	550点以上
IELTS™ (Academic)	4.0以上
ケンブリッジ英語検定	140以上
GTEC	GTECスコア(オフィシャルスコアに限る)が930点以上

\* 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)最終学年1学期、2学期制であれば最終学年前期、4学期制であれば最終学年2学期までの学習成績の状況。  
なお、2学期制において、最終学年前期までのもの提出が不可能な場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は、第2学年までのものとし、4学期制において、最終学年2学期までのもの提出が不可能な場合は、最終学年1学期までのものとします。

- 選考方法 第1次選考(書類審査・小論文)  
第2次選考(面接)
- 出願期間 【WEB出願登録期間】  
令和8年9月1日(火)～9月11日(金)  
【出願書類提出期間(郵送)】  
令和8年9月7日(月)～9月11日(金)消印有効
- 試験日 第2次選考 令和8年10月17日(土)
- 合格発表日 第1次 令和8年10月9日(金)  
第2次 令和8年11月2日(月)

■備考

本入学試験の趣旨や応募に関する注意事項などを含めた説明会を令和8年8月1日(土)・2日(日)に生田キャンパスで、令和8年7月12日(日)、8月22日(土)・23日(日)に神田キャンパスで開催します。英語外部試験の証明書の提出方法などの詳細は、入学試験要項で確認してください。

第1次選考では、調査書・志望理由書・小論文の審査を行います。詳細は入学試験要項で確認してください。

第2次選考は第1次選考合格者に対してのみ行います。

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	第1次選考(書類審査)		第2次選考(面接)		倍率
			受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
経済学部	国際経済学科	90	90	41	39	27	3.3

### (3) 国際コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科

#### 【趣旨】

専修大学国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科では、知識の量だけでなく、主体性を持って問題に取り組み、自ら答えを見つけ出し、新たな価値を作り出すことができる人を育てていきたいと考えています。

そこで、言語文化に対する興味と関心や学修意欲を有しており、学部教育を受けるために必要となる基礎的な学力として、高等学校の主要科目における教科書レベルの知識を有している人を募集します。

本入学試験では、本学科の4年間の学修を活かし、社会で広く活躍するための問題解決能力を発揮する人間となるために、学力の3要素とされる(1)知識・技能(2)思考力・判断力・表現力(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価します。

これまで培ってきた自分の力を、本学科での4年間の勉学によってさらに伸ばしたいと考えているみなさんに、積極的にこの専修大学国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科の本入学試験にチャレンジして欲しいと、教員一同、願っています。

■実施学部・学科 国際コミュニケーション学部・異文化コミュニケーション学科

■募集人員 12名

■出願資格

- 令和9年3月全日制の高等学校もしくは全日制の中等教育学校を卒業見込みの者および令和8年3月に卒業した者(外国の高等学校に留学のため、令和7年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。)
- 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了後1年以内の者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を令和9年3月31日までに修了見込みの者および令和8年3月に修了した者
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和9年3月31日までに修了見込みの者および令和8年3月に修了した者
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を令和9年3月31日までに修了見込みの者および令和8年3月に修了した者

■出願条件

- 専修大学国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科での勉学を強く希望し、入学を志す者
- 本学科への志願理由および入学後の学修における目標と計画が明確であること
- 他大学・他学部との併願を認めますが、本入学試験制度で合格した場合は、本学部に入学することを前提とします。

■選考方法 第1次選考(書類審査・課題小論文)  
第2次選考(講義受講・小論文・面接)

#### 【選考におけるポイント】

国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科における4年間の学修は、広く日本と世界の社会に目を向けることから始まります。第1次選考で提出していただくエントリーシートでは、高等学校までの勉学を活かし、本学科の学修で何を学びたいかを明確にし、それにつながる自分の力や経験、意欲を示してください。

また、課題図書を読んだうえでの設問への解答は、そうした学修にふさわしい問題設定力と、解決に向け自らの考えを的確に伝え基礎的な力を有しているかを判定するためのものです。著者の伝えようとしていることをしっかりと捉え理解する力と、そこから自分の意見を構築する力を問いたいと考えています。

第2次選考で実際に講義を受けていただき、その上で小論文と面接に臨んでもらうのは、実際のコミュニケーションの場で相手の考えを捉え、自分の意見を相手に正しく伝える力を、できるだけ現実に近い環境で発揮してもらうためのものです。ここでは、自分の考えを自分の言葉で書き、そして話すことができる力を判定の基準とします。

なお、面接では場合によって受験生が得意とする外国語の応答が入ることもあります。

- 出願期間 【WEB出願登録期間】  
令和8年9月1日(火)～9月11日(金)  
【出願書類提出期間(郵送)】  
令和8年9月7日(月)～9月11日(金)消印有効
- 試験日 第2次選考 令和8年10月10日(土)
- 合格発表日 第1次 令和8年10月2日(金)  
第2次 令和8年11月2日(月)

■備考

本入学試験の趣旨や応募に関する注意事項などを含めた説明会を令和8年7月12日(日)、8月22日(土)・23日(日)に神田キャンパスで、令和8年8月1日(土)・2日(日)に生田キャンパスで開催します。

第1次選考では、エントリーシートと課題小論文による審査を行います。詳細は入学試験要項で確認してください。第2次選考は、第1次選考合格者に対してのみ行います。

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	第1次選考(書類審査)		第2次選考(講義・小論文・面接)		倍率
			受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
国際コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	70	70	36	36	9	7.8

## 2. 総合型選抜

### (4) ネットワーク情報学部

#### 【趣旨】

ネットワーク情報学部は、情報通信技術を活用し、社会やビジネスで有益とされる価値の創造ができる人材を育成します。社会で活躍するために最も重要な要素は、生涯成長し続けるための学びに不可欠な積極性や志の高さです。一時の成功に奢らず、失敗に挫けず学びの機会とし、前進し続けることが求められます。本入学試験では、皆さんが、本学部で提供される4年間の学びの機会を活かし、その結果として社会で活躍する人材となるための素地を備えているかどうかを総合的に判断します。

■実施学部・学科 ネットワーク情報学部・ネットワーク情報学科

■募集人員 10名

■出願資格 大学入学資格を有する者

◎ネットワーク情報学部は、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢を持つ方々に本入学試験を受験して頂きたいと考えています。現在高等学校に在学中の方のみならず、既に高等学校を卒業された方、高等学校卒業程度認定試験に合格された方、海外に留学中または留学経験のある方、海外からの留学生の方、社会人の方などにも広く門戸を開いています。

#### ■出願条件

(1) 専修大学ネットワーク情報学部での勉学を強く希望し入学を志す者

(2) 以下の少なくともいずれか1つに該当する者

- ①探究学習アピール型：高等学校の学びにおける一定程度の成果\*とともに、「総合的な探究の時間」などにおける探究学習や「情報Ⅱ」などの情報に関する発展的な科目における学習から、本学部での学びにつながる能力や資質を示すことができる者  
\*調査書に記載された全体の学習成績の状況により評価します。
- ②自己アピール型：ネットワーク情報学部での学びにつながる能力や経歴(様々な課外活動やネットワーク情報学部主催のワークショップ参加も含む)、または情報技術に関する知識や技能を示すことができる者
- ③海外留学チャレンジ型：一般選抜前期入学試験で利用している英語外部試験の基準スコアを証明する書類(80点換算を目安とする)を提出できる者かつ、その語学力を活かして在学中に海外留学にチャレンジし、グローバルな視野を持って情報技術を活用して価値の創造に取り組もうとする者

■選考方法 第1次選考(書類審査)

第2次選考(面接・記述式総合問題)

#### 【選考におけるポイント】

第1次選考は、書類審査です。出願条件を確認し、必要な提出動画と書類を作成してください。「限られた時間内に、メディアを活用して自分が本学部に入學するにふさわしい人物であることを的確に伝えられているか」が第1次選考における評価のポイントです。第1次選考の合格者のみが第2次選考に進むことができます。動画の編集技術の質を問うものではないことに注意してください。また、自分の可能性を示すために利用できる情報は全て示すことも大切です。動画内で十分に説明できない情報については、自己推薦内容説明書類に記載することで内容を補完してください。自分の良さが十分に伝えられないということでは、社会で自分の味方となってくれる人を惹き付けることは難しく、未来を切り拓くことは困難になると判断されます。一人でできることには限界があり、周囲と協力することが社会での活躍には不可欠だからです。説明力を持たない人間は、協働して何らかの目的を達成することができません。さらに、自分なりの創意工夫をすることで、自分が単なるマニュアル人間ではないことを示すことも重要です。

第2次選考では、20～30分程度の面接を行い、皆さんの持つ積極性や志、あるいは多様な経験や知識によって、あなた自身が学部での学びを最大限に活かすことができると評価されるか、書類審査とあわせて総合的に判断します。重要なのは、自分は他の大勢に埋もれて消えてしまうことではないと自分の言葉によって示すことです。また、自分の考えを人に分かりやすく伝える力や本学部で学ぶ意欲を確認するために、記述式総合問題に取り組みでもらいます。

以上のことを総合的に評価し、本学部に入學するにふさわしいかを判断します。

■出願期間 【WEB出願登録期間】

令和8年 9月1日(火)～9月11日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

令和8年 9月7日(月)～9月11日(金) 消印有効

■試験日 第2次選考 令和8年10月31日(土)

■合格発表日 第1次 令和8年10月14日(水)

第2次 令和8年11月13日(金)

#### ■備考

令和8年6月21日(日)、7月11日(土)、8月1日(土)、2日(日)には、ネットワーク情報学部のワークショップを開催予定です。また、7月11日(土)には、本入学試験や本学部の学びに関する個別相談も開催予定です。詳細は本学「ネットワーク情報学部」のホームページで確認してください。

第2次選考は、第1次選考合格者に対してのみ行います。

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	第1次選考(書類審査)受験者数	合格者数	第2次選考(面接・記述式総合問題)受験者数	合格者数	倍率
ネットワーク情報学部	ネットワーク情報学科	31	31	18	18	12	2.6

ネットワーク情報学部  
総合型選抜  
に関する詳細は  
本学「ネットワーク情報学部」  
のホームページで  
ご確認ください。



### (5) 外国人留学生入学試験

■実施学部 全学部

■募集人員 若干名

■出願資格

下記の出願資格(1)～(3)のすべてに該当する者

(1) 外国の国籍を有する者

(2) 下記の出願条件(ア)～(カ)の、いずれかに該当する者

(ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2027年3月までに修了見込みのもの、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したものの。ただし、日本の教育制度に基づく学校\*1での在籍期間を有する場合は、その在籍期間が通算3年以内のもの

(イ) 外国において、大学入学資格を取得した者で2027年3月31日までに18歳に達するもの。ただし、日本の教育制度に基づく学校\*1での在籍期間を有する場合は、その在籍期間が通算3年以内のもの

(ウ) 外国において、学校教育の課程が12年未満である国における同課程を修了した者で、文部科学大臣の指定した施設\*2において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了したものの。ただし、日本の教育制度に基づく学校\*1での在籍期間を有する場合は、その在籍期間が通算3年以内のもの

(エ) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされる者であること等の要件を満たす文部科学大臣が指定した高等学校に対応する学校の課程を修了したものの\*2。ただし、日本の教育制度に基づく学校\*1での在籍期間を有する場合は、その在籍期間が通算3年以内のもの

(オ) 文部科学大臣が外国の高等学校相当として指定した在日外国人学校\*2において、当該外国人学校の12年の課程を修了した者(当該外国人学校の課程が12年未満である場合は、当該課程を修了したのち、文部科学大臣の指定した施設\*2において日本の大学に入学するための準備教育課程を修了したものの)。ただし、日本の教育制度に基づく学校\*1での在籍期間を有する場合は、その在籍期間が通算3年以内のもの

(カ) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの  
\*1 日本の教育制度に基づく学校とは、小・中・高等学校を指します。  
\*2 詳細は入学試験要項で確認してください。

(3) 下記の出願条件(ア)～(ウ)の、すべてに該当する者

(ア) 本学入学後、原則として「出入国管理および難民認定法」による留資格「留学」を取得できる者、または「留学」に変更できるもの

(イ) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(EJU)」を受験した者、あるいは受験するもの。ただし、日本国外から文学部、人間科学部に受験するもので、出願開始日より遡って2年以内に実施された「日本語能力試験(JLPT)」において「N1」の認定を受けたものは、「日本留学試験(EJU)」の受験に替えることができる。

(ウ) 文学部英語英米文学科については、出願開始日より遡って2年以内に実施されたTOEFL iBT®のスコアが一定以上\*3の者  
\*3 詳細は入学試験要項で確認してください。

#### ■選考方法

(1) 日本留学試験利用入試

日本留学試験の結果で可否を決定します。

日本留学試験のうち、以下の科目を受験してください。

学部	利用科目( )内は出題言語
経済学部	日本語(記述含む) 総合科目(日本語)
法学部	日本語(記述含む) 総合科目(日本語)
ネットワーク情報学部	日本語(記述含む) 数学(コース1)・数学(コース2)の中から1科目選択 (英語または日本語)
	理科(物理)(英語または日本語)
	理科(化学)・理科(生物)の中から1科目選択 (英語または日本語)
※条件 ① TOEFL-iBT®のスコア提出がある場合 数学、理科について、日本語での受験可 ② TOEFL-iBT®のスコア提出がない場合 数学、理科について、英語での受験とする	

(2) 日本留学試験利用・独自試験入試

①日本留学試験の結果と②本学独自の試験で可否を決定します。

①日本留学試験のうち、以下の科目を受験してください。

学部	利用科目( )内は出題言語
経営学部	日本語(記述含む) 総合科目・数学(コース1またはコース2)の中から1科目選択(英語、日本語いずれも可)
商学部	日本語(記述含む) 総合科目・数学(コース1またはコース2)の中から1科目選択(英語、日本語いずれも可)
文学部	日本語(記述含む)
人間科学部	日本語(記述含む)
国際コミュニケーション学部	日本語(記述含む)

②独自試験

学部	試験科目
経営学部	小論文(日本語)
商学部	小論文(日本語)、面接
文学部	小論文(日本語)、面接
人間科学部	小論文(日本語)、面接
国際コミュニケーション学部	小論文(日本語)、面接

■出願期間 ●日本国外からの出願

【WEB出願登録期間】

2026(令和8)年10月17日(土)～10月23日(金)

【出願書類提出期間(郵送)】

2026(令和8)年10月19日(月)～10月26日(月) 郵送必着

●日本国内からの出願

【WEB出願登録期間】

2026(令和8)年10月28日(水)～11月 3日(火)

【出願書類提出期間(窓口受付)】

2026(令和8)年11月 4日(水)～11月 6日(金) 窓口受付のみ

■試験日

経営学部、商学部、文学部、人間科学部、国際コミュニケーション学部

2027(令和9)年 1月 9日(土)

上記の学部以外は日本留学試験の結果で選考するため、個別試験はありません。

■合格発表日

2027(令和9)年 1月22日(金)

#### 2026(令和8)年度結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済学部	現代経済学科	83	82	15	5.5
	生活環境経済学科	71	70	11	6.4
	国際経済学科	73	72	13	5.5
法学部	法律学科	68	67	8	8.4
	政治学科	26	26	5	5.2
経営学部	経営学科	45	27	3	9.0
	ビジネスデザイン学科	31	18	1	18.0
商学部	マーケティング学科	70	40	6	6.7
	会計学科	10	3	1	3.0
文学部	日本文学文化学科	16	8	0	-
	英語英米文学科	2	2	2	1.0
	哲学科	7	3	3	1.0
	歴史学科	7	3	0	-
	環境地理学科	7	5	1	5.0
人間科学部	ジャーナリズム学科	48	24	7	3.4
	心理学科	22	13	2	6.5
人間科学部	社会学科	22	11	1	11.0
	日本語学科	29	17	3	5.7
国際コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	37	16	2	8.0
ネットワーク情報学部	ネットワーク情報学科	30	30	18	1.7
合計		704	537	102	5.3

## 2. 総合型選抜

### (6) 編入学試験

- 実施学部 文学部、人間科学部
- 募集人員 (前年度参考) 若干名
- 入学年次 すべて2年次入学
- 出願資格
  - (1) 短期大学を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
  - (2) 高等専門学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
  - (3) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者および令和9年3月修得見込みの者(本学学生はこの資格での出願は認めません。)
  - (4) 本学が短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
  - (5) 専修学校専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上)を満たすものを修了した者および令和9年3月修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者

#### ■選考方法

学部	学科	試験科目
文学部	日本文学文化学科	英語、専門に関する基礎知識および面接
	英語英米文学科	
	哲学科	
	歴史学科	
	環境地理学科	
ジャーナリズム学科		
人間科学部	心理学科	英語、専門に関する基礎知識および面接
	社会学科	

- 出願期間 【WEB出願登録期間】  
令和9年1月25日(月)～2月5日(金)  
【出願書類提出期間(郵送)】  
令和9年2月1日(月)～2月5日(金) 消印有効
- 試験日 令和9年3月5日(金)
- 合格発表日 令和9年3月11日(木)

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済学部*	現代経済学科	2	2	0	—
	生活環境経済学科	0	0	0	—
	国際経済学科	0	0	0	—
文学部	日本文学文化学科	0	0	0	—
	英語英米文学科	1	0	0	—
	哲学科	1	1	1	1.0
	歴史学科	0	0	0	—
	環境地理学科	0	0	0	—
人間科学部	ジャーナリズム学科	0	0	0	—
人間科学部	心理学科	0	0	0	—
	社会学科	0	0	0	—
合計		4	3	1	3.0

※2027(令和9)年度入試では実施しません

### (7) 学士入学試験

- 実施学部 法学部、文学部、人間科学部
- 募集人員 (前年度参考) 若干名
- 入学年次 本学が認定する単位によって、3年次または2年次入学。
- 出願資格
  - (1) 大学を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
  - (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
  - (3) 外国において学校教育における16年以上の課程を修了した者(文学部、人間科学部は、この資格での出願は認めません。)
  - (4) 本学が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および令和9年3月卒業見込みの者で同等以上の学力があると認めた者
  - (5) 文学部 英語英米文学科 英語コミュニケーションコースについては、令和7年3月以降に実施された TOEIC® Listening & Reading Test のスコアが730点以上の者 (TOEIC®-IP テストでの出願は認めません。)
  - (6) 文部科学大臣の指定した者

※卒業または卒業見込みの学科(同等の教育課程を含む)と同一の学科への出願はできません。

#### ■選考方法

学部	試験科目
法学部	書類審査および面接
文学部	書類審査、英語、専門に関する基礎知識および面接
人間科学部	書類審査、英語、専門に関する基礎知識および面接

- 出願期間 【WEB出願登録期間】  
令和9年1月25日(月)～2月5日(金)  
【出願書類提出期間(郵送)】  
令和9年2月1日(月)～2月5日(金) 消印有効
- 試験日 令和9年3月5日(金)
- 合格発表日 令和9年3月11日(木)

#### 令和8年度結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
経済学部*	現代経済学科	1	1	1	1.0
	生活環境経済学科	0	0	0	—
	国際経済学科	0	0	0	—
法学部	法律学科	1	1	0	—
	政治学科	0	0	0	—
文学部	日本文学文化学科	0	0	0	—
	英語英米文学科	0	0	0	—
	哲学科	1	1	1	1.0
	歴史学科	0	0	0	—
	環境地理学科	0	0	0	—
人間科学部	ジャーナリズム学科	0	0	0	—
人間科学部	心理学科	0	0	0	—
	社会学科	0	0	0	—
合計		3	3	2	1.5

※2027(令和9)年度入試では実施しません

## 参加して受験に役立つ具体的な情報をGET!

### 公募制推薦入学試験説明

●印のオープンキャンパス内で開催します。

実施学部・学科	6/21 日	7/12 日	8/1 土	8/2 日	8/22 土	8/23 日
		生田	神田	生田		神田
商学部			●	●		
ネットワーク情報学部 NEW	●	●				

### 総合型選抜説明会

●印のオープンキャンパス内で開催します。

実施学部・学科	6/21 日	7/12 日	8/1 土	8/2 日	8/22 土	8/23 日
		生田	神田	生田		神田
経済学部 国際経済学科		●	●	●	●	●
経営学部	●		●	●		
国際コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科		●	●	●	●	●
ネットワーク情報学部	●	●				

## 入試情報・出願はWEBをCHECK!

### 入学試験要項・WEB出願

#### 大学入学共通テスト利用入学試験・一般選抜(WEB出願)

入学試験要項については9月中旬に本学ホームページで公表予定です。

※ 入学試験要項の冊子配布はしていません。

#### 学校推薦型選抜・総合型選抜(WEB出願)

各入学試験制度における入学試験要項は右表のとおり本学ホームページで公表予定です。

※ 入学試験要項の冊子配布はしていません。



入学試験制度 ▶▶



入学試験要項 ▶▶

入試種別	HP公表予定
公募制推薦入学試験<商学部>	7月上旬
公募制推薦入学試験<ネットワーク情報学部>	6月中旬
総合型選抜<経済学部国際経済学科>	6月中旬
総合型選抜<経営学部>	6月中旬
総合型選抜<国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科>	7月上旬
総合型選抜<ネットワーク情報学部>	6月中旬
外国人留学生入学試験	6月中旬
編入学試験	12月上旬
学士入学試験	12月上旬